

ふれあい

令和3年8月 第422号
大代地区コミュニティ推進協議会
(広報部)
事務局：大代地区公民館
TEL:022-364-8442
FAX:022-364-8453

【掲載目次】

- 夏休みに向けて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- 大代地区慰霊祭のご案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- サポーター育成講座実施しました・・・・・・・・・・・・・3
- 楽しい腹話術ショー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
- 前号の訂正・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

外国人技能実習生との交流サポーター育成講座

第1回（7月4日）

第2回（7月11日）



7/21 山茶花大学（スマイリー・チバ先生）



夏休みに向けて

大代地区公民館長

令和3年も半分以上が過ぎました。現在も新型コロナウイルス感染症終息の見通しが立たず、7月下旬には東京オリンピックも始まりました。宮城県内も感染者が波のように上下し、いつまで続くのだろうかという先の見通しに不安を感じます。

大代地区公民館でも、コロナ対策を取りながら、安全に利用していただくために、日々消毒や管理を行っていますが、利用者の皆様にも協力をいただいて何とか運営しています。

防災キャンプ

8月に入り、子どもたちも夏休みの中で、本来であれば公民館を利用して1泊2日の「防災キャンプ」を開催し、思い出作りの一つとして体験を行っているところでもあります。残念ながら今年も昨年同様にデイキャンプでの実施となります。今年やれることを模索しながら、長めのスケジュール設定をし、夕方までの企画として実施して参ります。一つでも多くの

ことを子どもたちには学んでもらいたいと思います。

会議室の自由解放

夏休み期間中は、2階の会議室の空きを利用して、子どもたちに宿題や予習をする環境を整えたいと考えています。2階の会議室であれば、十分に換気やスペースを確保できますし、静かな環境で勉強できます。短い期間で、ルールもありますが、声を出して騒いだりしないよう職員も見回りますので、勉強道具を持ってお越しく下さい。別日には「多賀城スコール」として、東北学院大学のお兄さんお姉さんが勉強を見てくれる日もあります。こちらは、各小中学校に募集のチラシが回っていて、すでに締切となっているので、参加できなかった生徒さんは、この広報「ふれあい」と一緒に配布されるチラシをご覧ください、日時を確認のうえ公民館の自由解放時にご来館ください。本来は体育室も「子ども広場」としてスポーツ等で開放したいところではありますが、こちらは県内の感染状況も踏まえて慎重

に検討しております。もししばらくお待ちください。

大代地区慰霊祭のご案内

大代地区町内会長会

大代地区の伝統行事である慰霊祭を左記のとおり開催いたします。

この行事は、水難物故者のご供養と、そして大代地区の皆様の平安な生活を祈念し行うものです。

ご家族の皆様にもご参列いただき、ご焼香を賜りたく、お願い申し上げます。

なお、本年度も新型コロナウイルス禍は収束せず、感染予防の面から、残念ながら昨年同様、祭典のみと致します。このことにご理解願います。

(中止) 燈籠・奉納舞踊・打ち上げ花火
・夜店 等)

記

1 日時 令和3年8月20日(金)

午後3時から

納経(西園寺 住職)

午後5時まで

一般焼香

(雨天決行)

2 場 所 大代橋本橋 西側特設会場

※マスク着用をお願いします。

サポーター育成講座実施しました

7月4日(日)と11日(日)の2日間に亘り、多文化共生事業(技能実習生との交流)の最初の事業としてサポーター育成講座を実施しました。参加者は、スタッフ、サポーター合わせて約60人でした。

今回の多文化共生事業は昨年度に引き続き行うもので、参加者も多く集まり関心の高さが感じられました。

外国人技能実習生は、多賀城市の中でも大代に在住している方が半数以上を占めており、時折、スーパーや公園、路上などでよく見かけることがあります。彼らは、日本に一定期間滞在し、技術を習得して、いずれ国へ帰ることになります。それと合わせて日本の様々なことについて学ぶことも大事な要素になっているようです。

私たちも、時々見かける技能実習生たちを同じ市民(住民)として身近に捉え、

互いに理解し合うことは、とても重要なことだと思えます。

こうした背景から、サポーターとなつて、身近な関係を築いていくため、技能実習生の制度やその国の文化、言葉など基礎的なことについて学習しました。講師として、大代地区にはミャンマー人、ベトナム人が多く住んでいることから、県内に住むそれぞれの国の方を招き、その国の文化や言葉などを紹介していただきました。

また交流を深めるのに最も重要な会話については、基本的に日本語でお話するのが良いとのこと(一番は、その国の言葉)。ただし、日本語を普通に喋つてもなかなか通じないので、サポーターの方々は、改めてやさしい日本語とは何かを実習しながら学びました。ポイントになるのは、ゆっくり話す。短い文として話す。熟語はできるだけ使わず簡単な言葉で話すなど、ちよつとした話し方の心配りが必要のようです。しかし、丁寧語などは使わず、シンプルな言葉使いがかえって相手に伝わりやすくなります。

公民館として、今後も外国人と直接交流する事業を計画してまいります。地元

の皆さんにも広くご参加いただける事業も計画したいと思えますので、その節は、是非ご参加ください。また日常生活で、ちよつと気になることがあります。公民館からも発信し、互いに理解が得られる共生社会を目指していきたいと思っています。引き続き、関心を持っていただき、ご協力くださいますよう宜しくお願い申し上げます。



大代地区の特徴

○大代地区の人口構成について
各地区の人口（6月30日現在）

大代東	383世帯	961人
大代中	412世帯	982人
大代西	349世帯	718人
大代北	111世帯	263人
大代南	641世帯	1,504人

各地区の傾向としましては多賀城市全体と比較すると、大代西区・北区・南区は年少人口の割合が低く、老年人口の割合が高くなっています。大代東区・中区は年少人口の割合が高く、老年人口の割合が低くなっています。

○大代は国際的な地域？

みなさん通勤や通学の時に外国の方の姿を見かけることはありませんか？多賀城市には403人（6月30日現在）の外国人が住んでいるのですが、特に大代はベトナムやミャンマーからの外国人技能実習生が多く住んでいる地区です。そのため大代地区公民館でも多文化共生事業を行っています。

参考：住民基本台帳人口集計表（令和3年6月30日現在）

楽しい腹話術ショー

7月21日（水）に、山茶花大学3回目の講座が行われ、今回は、「日本笑い学会東北支部」の千葉俊一先生（スマイリー・チバ）による「歯と笑いの健康＋腹話術ショー」が開催されました。



講師の千葉先生は、長年歯科医師を務められながら、日本笑い学会員として、腹

話術や笑いが取れる面白い講話を行ってきました。大代地区公民館でも、90分間にわたる楽しいトークと腹話術が繰り広げられ、受講していただいた方にも大変満足していただきました。

特に腹話術は、受講者の皆様も初めて見るとのことで、複数ある人形を駆使して個性豊かな腹話術を披露していただきました。



前号の訂正

『ふれあい』421号に掲載しました「令和3年・4年度広報部員」の部員名におきまして、「小野 総子」となっていました。訂正しくは「小野 聡子」の誤りでした。訂正いたします。